



国際交流活動inまつうら

今月は松浦に暮らす5人のALTの先生を紹介します！

●松浦のALT大活躍！

現在松浦市には5人のALT(外国語指導助手)が住んでいます。4人は松浦市教育委員会所属で、マーク先生①、キーラ先生②、ダニエル先生③、ナディア先生④は松浦市内の小中学校で教えています。もう1人は長崎県教育委員会所属のパトリック先生⑤が松浦高校で教えています。

写真のとおり、松浦のあちらこちらの行事に参加し、学校だけではなく、コミュニティーでも大活躍をしています。10月15日に行われた今福のおくんち「和一处」にはマーク先生が参加し、10月27日・28日に開催された水軍まつりではALT全員とLocal resident(松浦市民)のデービッド・ホルマンさんが松浦市国際親善協会(MIFA)のソーセージ・シズル出店へ協力して、約600本のソーセージの売上に貢献しました。パレードでも松浦龍王太鼓のメンバーとしてのALTの姿も目立ちました。

市民の皆さん、これからも、松浦に住んでいる外国人へ声をかけて、一緒に国際都市まつうらを作りましょう！



◀①マーク・ハンスタイン(中央右2人目)

②キーラ・ハリス(写真中央、コアラ着ぐるみ)

③ダニエル・サンドストロム(赤帽子)

※写真中央右は松浦市民デービッド・ホルマン氏



◀④ナディア・フォーブス(写真左)

⑤パトリック・マグワイヤ(写真右)

※写真中央は平戸市ALTブランドン先生



図書館へ行こう！
～本を読みたくなる気持ちにスイッチ・オン！～

市立図書館
☎ 0956-72-4677



松浦市ホームページで「松浦市立図書館」を検索

土日、祝日開館(年末年始、臨時休館を除く)
休館日は行事カレンダーをご覧ください。

本でつながる BOOKリレー 7



紹介する本のタイトル

「身近な雑草の愉快的生きかた」
稲垣栄洋著、三上 修画
／ちくま文庫

紹介する人

氏名：今西 誠司
職業：松浦市教育長

このコーナーでは、皆さんの本や読書にまつわる思い出、エピソードなどをご紹介します。

私の好きな場所は、星鹿城山から眺める青く澄んだ海と遠くに見える島々、そして、行くと必ず刺激を与えてくれる図書館です。

ある時、きらきら21にはどんな図書があるのか見てみよう、半日かけて館内を回りました。すると、あらゆる年齢層に合わせた様々なジャンルの読み物や専門書、雑誌や松浦市の歴史や産業に関する資料等、多くの魅力的な書物があり驚きました。

その中で、出会った一冊の本「身近な雑草の愉快的生きかた」

- ・地べたで踏まれながら生きるオオバコ
 - ・アスファルトを突き破るハマスゲ
 - ・炎天の乾いた道端でしっかりと立っているヨモギ
- 雑草は本来弱い植物ですが、弱いからこそ、さまざまな戦略と工夫で逆境を乗り越え、花を咲かせ、実を結び、種を残すそうです。

この本を通して、それまで何気なく見過ごしていた雑草たちの、たくましく生き抜く術を知りました。それ以来、コンクリートのわずかな隙間からすくと立つ草や、地べたに張りつきながら逞しく成長する草花をみては、思わず「がんばれ、私も負けない。」と言いたくなります。

皆さんも、キラキラ輝く場所で、素敵な本と出会ってみませんか。

イベント情報

- おはなし会(おはなしのへや)
12月2日、9日、23日 午前11時～
- 演じて楽しい「紙芝居」
12月2日(日) 午後1時30分～
要申込(図書館まで)
- おはなしの会ポケットクリスマス会(生涯学習センターホール)
12月16日(日) 午前10時30分～
主催：おはなしの会ポケット
- 冬の上映会(生涯学習センターホール)
12月23日(日) 午後2時～
『ムーミン谷とウインターワンダーランド』
※詳細は図書館までお問い合わせください。
※予定が変更になる場合があります。

お知らせ

- お詫び：10月31日までに配布した「としよかんカレンダー」に誤りがありました。
- (正)1月4日→休館日
- 年末年始の休館は次のとおりです。
12月27日(木)～1月4日(金)
- 休館中の図書の返却は、返却口(生涯学習センター入口自動扉右側)へお願いします。紙芝居などポストに入らない本は、開館時間に直接カウンターへ返却してください。

福岡ビジネス協議会(FBK)で 「アジフライの聖地松浦」をPR!

天神書簡ー福岡事務所便りー



福岡事務所は、福岡都市圏の企業240社で構成されている『福岡ビジネス協議会(FBK)』に人脈形成を目的として参加し、毎月約200人が出席する月例会等で交流を深めています。月例会は毎月テーマを持って開催されており、PR商談会や全社ブースお見合い会と題して、各会員が交流を深め、ビジネスチャンスの拡大を図る中、福岡事務所においても冊子やパンフレット、イベントチラシ等の配布を行い、緊急提案に手を挙げるなど、松浦のPRに努めているところです。

先日行われた定期総会では、友田市長も出席してステージ上でアジフライTシャツを着用し、現在松浦市が進めている「アジフライの聖地 松浦」をPRしました。これまでの取り組みによってFBKでの松浦市の認知度が極めて高い中、「アジフライの聖地」へ向けた新たな取り組みにも大いに興味を持っていただきましたので、聖地宣言に向けて今後も「アジフライの聖地 松浦」を更に浸透させていきます。



▲月例会の緊急提案で松浦ふるさとづくり寄付金をPR



市長も松浦をPR▶



◀PRタイムでは市長もアジフライTシャツを着用

お問合せ

松浦市福岡事務所

☎ 092-406-2180

✉ matsuura.f@city.matsuura.lg.jp



わたしたちの郷土

151
巻



くまもと文学・歴史館開催の秋季特別展示会
「蒙古襲来絵詞と竹崎季長」に鷹島海底遺跡出土遺物の「てつはう」展示中!

11月1日(木)から12月17日(月)までの期間、くまもと文学・歴史館において秋季特別展示会「蒙古襲来絵詞と竹崎季長」が開催されています。

特別展示会では、肥後国(熊本)の御家人・竹崎季長が蒙古襲来の様子を描かせた絵巻物「蒙古襲来絵詞」の原本が展示されています。

この「蒙古襲来絵詞」は、明治時代に天草の旧家大矢野家から皇室に献納されており、熊本には17年ぶりの里帰りとなります。

本市からは、鷹島海底遺跡から出土したてつはうや青、管軍総把印(レプリカ)など10点が展示されています。

教科書にも掲載される「蒙古襲来絵詞」と「てつはう」の实物が同時に見学できる貴重な展示会となっています。

また、12月2日(日)、同会場において「蒙古襲来の真実」と題したシンポジウムが開催され、琉球大学国際地域創造学部の池田榮史教授が「蒙古襲来絵詞の理解に向けてー長崎県鷹島海底遺跡の水中考古学調査成果からー」を発表されます。くまもと文学・歴史館(熊本市中央区出水2-5-1)

☎ 096-384-5000



▲てつはう



▲管軍総把印